

【ヘブル人への手紙9章】

「キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。」

(ヘブル9：28)

今日も“主の血潮”を賛美しましたが、これがどんなに大きな意味があるかということが書かれてあるのが今日の9章です。

旧約の時代、神への礼拝は神殿でなされました。イスラエルが荒野を旅した時は「幕屋」と呼ばれていました。この神殿で、祭司たちおよび大祭司は、いけにえを携えて神に近づき礼拝しました。前方は聖所、その奥は至聖所で、それ等は“天国のひな型”です。聖所には祭司たちが入って礼拝を行い、至聖所には大祭司だけが年に一度だけ入ります。その時、血を携えて入ります。「それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。」(9：22) 祭司は一回一回血を携えて聖所に入り神と出会っていましたが、新約になって、イエス・キリストご自身が小羊となられて血を流され、十字架にかかって、全人類の贖いを成してくださいました。「キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、」と書かれてある通りです。聖所と至聖所の間には「幕」がありますが、イエス様が十字架で死なれた時に、その幕が引き裂かれました。(マタイ27：51)これは、イエス・キリストの贖いの死によって、誰でも大胆に神のみ前に近づくことが出来るようになったことを表しています。

二度目に来られるのは(再臨)、今度は罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人のために来られると言っています。先日ヨーロッパチーム(ドイツ、チェコ、フィンランド)が帰国しました。み声新聞にも載っていますが、「終末を示すような世界の出来事が起きたりするので注意深く見ていなさい。」と預言で語られていた通り、ドイツやチェコを含めた欧州の複数の国々で深刻な洪水被害が発生しました。またシリア等における戦争、戦争の噂、地震、不法がはびこり、真の愛が冷え、同性婚が認められたり、まさに世界中に終末の様相が広がり、救いを求める人も多く起こされていきます。それと同時に、反キリスト、偽キリストが立ち上がり、クリスチャンは迫害されます。再臨の備えを一つ一つ成してゆくために、ますます血潮によってきよめられ、聖霊に満たされてゆきましょう。教会に留まり、賜物を用いて教会に仕えましょう。また再臨の主が来られる前に、召されてゆく方も多いでしょう。血潮によって、いつ主のもとに呼ばれてもよいように、備えをしましょう。

白馬キャンプが迫ってきています。山に逃げ、山で新しい油注ぎを受けて、使命を全うするための力を頂きましょう！ 約束の成就の時は迫っています！主を待ち望んでいる人々を迎えに再び来られます。その時は確実に迫っています。

*皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.6.30 No.743

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>